

(仮称)岐阜薬科大学学舎建設工事

審査講評

令和 7 年 11 月

岐阜薬科大学整備総合評価審査委員会

目 次

1	工事概要・スケジュール	
	（１）工事概要	1
	（２）日程	1
	（３）手順フロー図	2
2	審査委員会	
	（１）設置	3
	（２）開催経過	3
3	審査結果	
	（１）落札者決定基準の審査	4
	（２）V E提案の採否に関わる審議	4
	（３）落札者決定の審査	4
	（４）落札者(案)の決定	6
	（５）選定委員会への答申	6
4	総評	7
5	入札参加資格者の構成	8
	別紙	
	・ 審査項目及び評価基準	9

1 工事概要・スケジュール（入札公告の内容）

(1) 工事概要

(ア) 工事名称

(仮称) 岐阜薬科大学学舎建設工事（以下、「本工事」という。）

(イ) 工事場所

岐阜市大学西一丁目 35 番 1 ほか 19 筆

(ウ) 発注方式

設計施工一括発注方式

(エ) 完成期日

令和 10 年 12 月 12 日

(オ) 予定価格

10,599,943,200 円（消費税及び地方消費税を含む。）

(カ) 目的・工事内容

岐阜薬科大学本部キャンパス研究室の狭隘化解消、新カリキュラムで必要となる少人数に対応した教室の整備、三田洞キャンパスの老朽化に対応するため、「岐阜薬科大学キャンパス整備基本計画」に基づき、本部西側に新学舎を整備する。

- ・校舎棟（鉄筋コンクリート造、地上 4 階、14,286.2 m²）
- ・その他 附属施設

(2) 日程

表 1 日程

項 目	時 期
入札公告	令和 7 年 6 月 24 日（火）
入札参加に係る質問書の提出期間	令和 7 年 6 月 24 日（火）～7 月 4 日（金）
入札参加に係る質問書の回答期限	令和 7 年 7 月 11 日（金）
一般競争入札参加資格確認申請書の提出期間	令和 7 年 6 月 24 日（火）～7 月 17 日（木）
一般競争入札参加資格結果通知	令和 7 年 7 月 28 日（月）
本工事に係る質問書の提出期間	令和 7 年 7 月 29 日（火）～8 月 1 日（金）
本工事に係る質問書の回答期限	令和 7 年 8 月 12 日（火）
VE 提案書の提出期間	令和 7 年 7 月 29 日（火）～8 月 18 日（月）
VE 対話	令和 7 年 8 月 22 日（金）
VE 審査結果公表	令和 7 年 9 月 8 日（月）
技術提案書の提出期間	令和 7 年 9 月 30 日（火）～10 月 6 日（月）
応札期間	令和 7 年 10 月 8 日（水）～10 月 14 日（火）
プレゼンテーション・ヒアリング	令和 7 年 10 月 21 日（火）
開札	令和 7 年 10 月 22 日（水）
落札者(案)* ¹ の決定	令和 7 年 10 月 22 日（水）

*1…岐阜市建設工事等業者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）の審査を経て落札者となる者のことをいう。

(3)手順フロー図

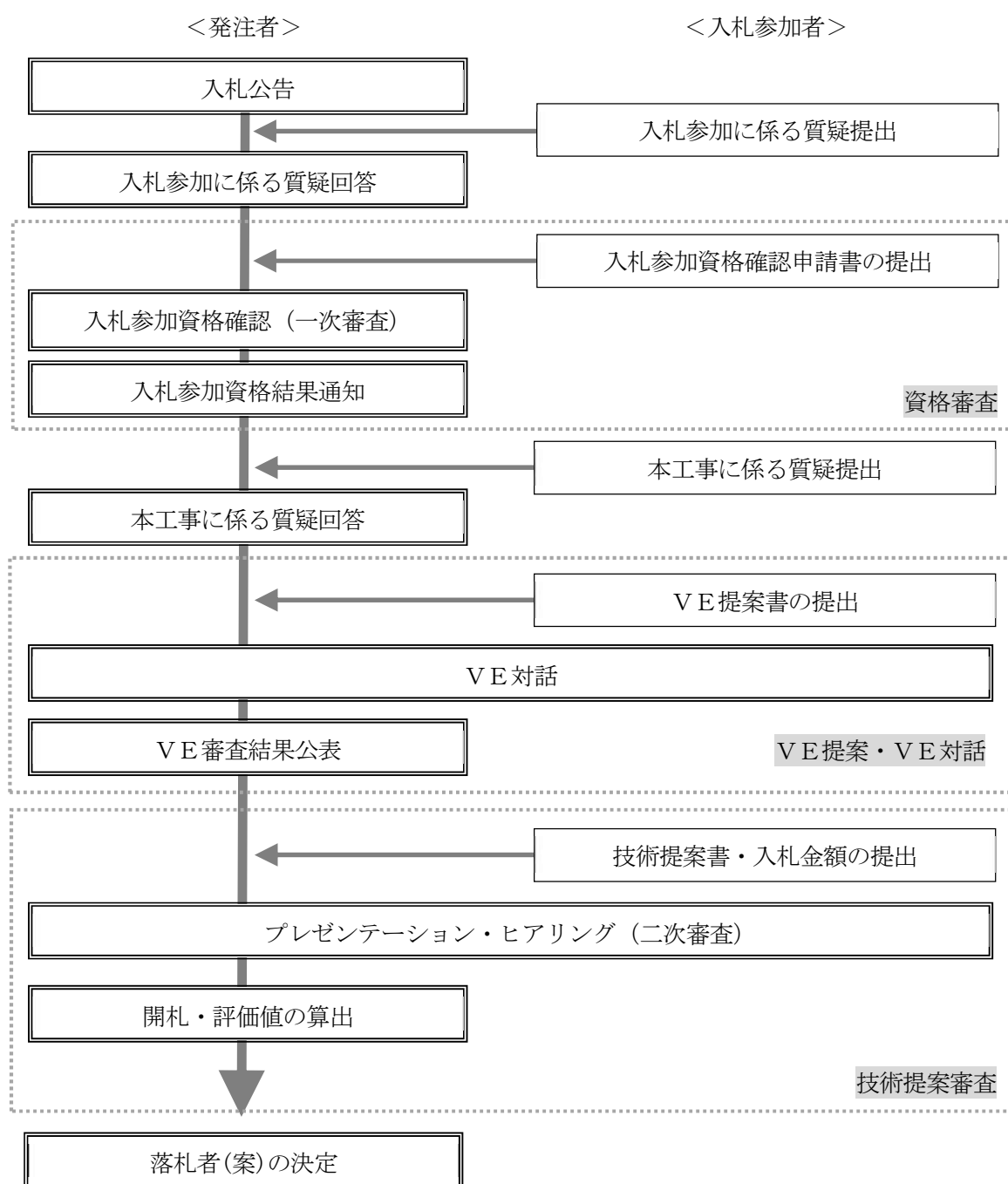


図1 手順フロー図

2 審査委員会

(1)設置

総合評価落札方式により本工事の落札者(案)を決定するにあたり、地方自治法施行令第 167 条の 10 の 2 に規定する落札者の決定にあたっての審査等を行うため、岐阜薬科大学整備総合評価審査委員会（以下「審査委員会」という。）を設置した。

審査委員会は、委員 5 名で組織し、会議は非公開で行った。

(2)開催経過

表 2 開催経過

回	開催日	主な議事内容
第 1 回	令和 7 年 5 月 13 日	・全体スケジュールと審議内容について ・入札参加資格について ・落札者決定基準について ・VE 提案の審査について
第 2 回	令和 7 年 8 月 29 日	・VE 提案の採否に関する審議 ・第 3 回審査委員会における技術提案審査の進め方
第 3 回	令和 7 年 10 月 21 日	・技術提案審査（プレゼンテーション・ヒアリング） ・加算点の決定

【参考】選定委員会 開催経過

	開催日	主な議事内容
1	令和 7 年 1 月 10 日	・岐阜薬科大学キャンパス整備工事の事業者選定（総合評価落札方式）について
2	令和 7 年 4 月 28 日	・入札参加資格（案）について ・落札者決定基準（案）について ・本工事におけるVE 提案の取扱いについて（案）
3	令和 7 年 6 月 5 日	・入札参加資格及び落札者決定基準の決定について ・VE 提案について ・JV 組成について ・低入価格調査について
4	令和 7 年 7 月 24 日	・一般競争入札（事前審査型）の入札参加資格の確認について
5	令和 7 年 9 月 8 日	・VE 提案の採否の決定について
6	令和 7 年 10 月 27 日	・総合評価落札方式（標準型）の落札者の決定について

3 審査結果

(1)落札者決定基準の審査

令和7年5月13日に第1回審査委員会を開催し、落札者決定基準等（審査項目及び評価基準）について審査した。

(ア) 審査項目及び評価基準

令和7年6月5日、選定委員会にて審査項目及び評価基準を別紙のとおり決定した。

(イ) 入札公告

令和7年6月24日に入札公告を行い、同年7月17日までに1者（入札参加資格者番号「化学」）から一般競争入札参加資格確認申請書の提出があった。

(ウ) 入札参加資格審査（一次審査）

発注者において、入札参加者から提出された一般競争入札参加資格確認申請書が入札参加条件を満たしているか否かを審査した。

(エ) VE提案・VE対話

発注者において、入札参加資格者から提出されたVE提案について対話を実施した。

(2)VE提案の採否に関する審議

令和7年8月29日に第2回審査委員会を開催し、VE提案の採否について審議し、以下のとおりの結果となった。

表3 VE提案の採否結果

	化 学
採 用	16 件
一部採用	5 件
不採用	20 件
計	41 件

(ア) VE提案の審査結果公表

令和7年9月8日、選定委員会にてVE提案の採否を決定した。

(3)落札者決定の審査(二次審査)

令和7年10月21日に第3回審査委員会を開催し、プレゼンテーション・ヒアリングを行い、審査項目及び評価基準に基づき、技術提案書に関する加算点を決定した。

表4 技術提案の概要

	化 学
提案内容	【技術提案1】 業務実施計画 ・DB事業の成功に向けて重要となるアクションプランを設定 ・設計段階からプロジェクトチーム全体で協働し、知を結集した質の高い施設づくり ・豊富な実績から蓄積したノウハウと知見を結集し、安心安全に配慮した工事計画 ・周辺環境及び近隣田畑耕作等への影響対策
	【技術提案2】 ①物価上昇等に対するコスト管理手法 ・設計段階における事業費の抑制方針 ・設計意図の共有化と合意形成 ・合理的な設計によるコスト抑制 ・採否判断しやすい低減提案 ・工事段階における事業費の抑制方法 ・資材・労務の調達方法からのコスト管理 ・継続的なコスト変動の把握と報告 ・工期を管理、事業を進めるマネジメント方針 ・プロジェクト会議で一元的に運営管理
	②イニシャルコスト低減に繋げるコスト削減案 ・目標設定によるイニシャルコストの低減 ・VE提案によるイニシャルコストの低減
	【技術提案3】 スケジュール管理手法 ・工程管理体制の構築 ・資材発注時期及び施工方法による工程管理 ・省力化による工期短縮の提案 ・BIMの活用と円滑な情報共有・進捗確認体制の構築 ・各種別途工事業者との調整・協力・連携体制
	【技術提案4】 地域貢献 ・建設事業者の活用方法、建設資機材の購入計画 ・市内建設事業者の技術力向上 ・地域への情報発信、地域活動への参加

表5 加算点

審査項目	化 学
施工能力	9.40
企業能力	4.60
配置予定技術者の実績	0.50
地域要件	2.30
合計	16.80

(4)落札者(案)の決定

加算点の決定及び令和7年10月22日に開札した入札金額により評価値を計算し、入札参加資格者番号「化学」を落札者(案)に決定した。

表6 審査結果

入札参加資格者番号	化 学
標準点	100.00
加算点	16.80
標準点＋加算点計	116.80
入札金額（円、税抜き）	9,636,000,000
評価値	12.1212

(5)選定委員会への答申

（４）の結果について、令和7年10月24日に選定委員会に答申した。

4 総評

本工事の公告に対して、3 か月半という短期間にも関わらず VE 提案、技術提案を提出いただいた企業に厚く御礼を申し上げる。

建設業界では、人材不足の影響がここ数年顕著である。工期が長い、面積が大きい、工事の難易度が高いといった公共工事の入札では、応札者の減少や、入札不調となる事例が多くなっている。計画的に行政施策を進めたい自治体だけでなく、技術者の不足を抱える工事請負業者にとっても、非常に厳しい状況が続いている。

岐阜薬科大学の整備は、薬学の研究や薬剤師の育成を通して岐阜市をはじめとするこの地域の持続可能性にとって大きな役割を果たしており、計画通り進めていくことが求められる。そのため、審査委員会では建設業をとりまく厳しい現状のなかで、落札者を確保すること、上昇基調が続いている建設費に対して工事費の増加をなるべく抑えながら建設工事を進めること、計画通りに工事を進めることを中心に議論し、技術提案を求めることとした。

日々上昇する物価は、複数年にわたる工事において、物価スライドはあるものの、建設コストの見通しがつきにくい要素である。また 2024 年から適用された働き方改革による週休 2 日制の導入に対応する工程管理に加え、夏季の異常な高温による熱中症リスク回避は、完成工期に直接影響を与えることとなる。

提出された技術提案では、挑戦的な内容が少なく、前述のリスクを回避・分散・低減するものが中心となっていたのもやむを得ないと考える。

とはいえ技術提案内容は、審査委員会で設定した水準に達していると考えられ、今後は提案にある物価上昇を見据えたコスト管理手法や工期を遵守するスケジュール管理手法を確実に実行できるよう、発注者と連携し、本工事に尽力していただきたい。

本工事は、岐阜市として初めて採用する設計施工一括発注方式である。そのため、他の地方公共団体で行われている先行事例の知見を参考としながら、岐阜市・岐阜薬科大学にとって効果的な技術提案の内容を議論し設定した。技術提案で得られた企業の知見を、発注者と十分な協議のうえで反映し、設計施工が一括となることで得られるメリットを最大限に活かすことで、今後のモデルケースとなることを大いに期待する。

岐阜薬科大学整備総合評価審査委員会 委員長

5 入札参加資格者の構成

<入札参加資格者番号：化学>

大日本・市川・大洞・内藤建築事務所特定建設工事共同企業体	
代表構成員	大日本土木株式会社
構成員	株式会社市川工務店
	株式会社大洞工務店
	株式会社内藤建築事務所 名古屋事務所

審査項目及び評価基準

ア

審査項目	評価項目及び記載事項	評 価 基 準	配点	得点
施工能力	[安全対策] (単体又は工事を担う全構成員が対象) ■評価項目 ・労働安全衛生分野表彰歴及び工事事故等による資格停止措置の有無。 ■留意事項 ○「労働安全衛生分野表彰歴」は以下のとおりとする。 ・安全衛生に係る優良事業場、団体又は功労者に対する厚生労働大臣・岐阜労働局長表彰 ・厚生労働省労働基準局長が行う建設事業無災害表彰（岐阜県内工事に限る） ・厚生労働省労働基準局長が発行した無災害記録証 ○安全衛生に係る功労者に対する厚生労働大臣表彰・岐阜労働局長表彰については、被表彰者が、入札参加者の現役の社員である場合に該当。	過去に労働安全衛生分野表彰歴があり、かつ、入札公告日の属する年度及び直近３か年度以内に岐阜市からの工事事故等による資格停止措置なし	1.5	/1.5
		過去に労働安全衛生分野表彰歴なし、かつ、入札公告日の属する年度及び直近３か年度以内に岐阜市からの工事事故等による資格停止措置なし、若しくは過去に労働安全衛生分野表彰歴があり、かつ、入札公告日の属する年度及び直近３か年度以内に岐阜市からの工事事故等による資格停止措置あり	0.0	
		過去に労働安全衛生分野表彰歴なし、かつ、入札公告日の属する年度及び直近３か年度以内に岐阜市からの工事事故等による資格停止措置あり	-1.5	
	[環境配慮] (単体又は工事を担う全構成員が対象) ■ 評価項目 ・ISO9001 及び ISO14001 認証取得の有無 ■留意事項 ○認証範囲に申請者の事業所が含まれている（入札参加する営業所が認証されている）場合に限る。	ISO9001 並びに ISO14001 を取得済	1	/1.0
		ISO9001 又は ISO14001 のいずれかを取得済	0.5	
		取得なし	0	

	[技術提案 1] 【業務実施計画】 ■評価項目 ・事例が少ないDB事業にあつて、設計から施工へ円滑に移行する業務実施方針及び全工程を通した業務実施体制について提案を求める ・施工時に発生が予見される様々なリスクに対する回避手法について提案を求める。 ■評価の視点 ・各工程における留意事項や課題が的確に反映された業務実施計画の提案があるか。 ・周辺環境や関連工事などに影響が予見されるリスクに対して、効果的かつ具体的な予防と対策の提案があるか。 ・統括責任者の関与について、工程管理、コスト管理、品質管理、受発注者の相互連携等、全工程を通した具体的かつ効果的な業務実施体制の提案があるか。 ・一元化された窓口が提案されているか。 ■具体的に求めたい提案例 ・実施設計から施工への円滑な移行に関する配慮事項 ・関連事業者（北側外構・道路工事）との調整における配慮事項 ・交通渋滞対策 ・周辺環境、近隣田畑耕作への影響対策 ・責任者や窓口の具体的な役割 ・ICT等を活用した品質管理や安全管理等の手法 など	特に優れた工夫があると評価できるもの →配点×100% 優れた工夫があると評価できるもの →配点×75% 標準的工夫があると評価できるもの →配点×50% 工夫が少なくあまり評価できないもの →配点×25% 一般的で工夫がなく評価できないもの →配点×0% 技術提案の題目ごとにそれぞれ評価する	3.0 ～ 0	/3.0
--	---	---	------------------------	-------------

	[技術提案 2] 【①物価上昇等に対するコスト管理手法】 ■評価項目 ・物価や人件費等の上昇を見据えた設計・施工段階での事業費超過を抑制するコスト管理手法及び超過リスクを低減するコスト管理手法を求める。 ■評価の視点 ・物価上昇等が続いている状況において、事業への影響を極力低減するための工夫が提案されているか。 ・工期短縮を含め、設計変更等による増減金額について、受発注者間で認識合わせを行いながら DB 事業を進めるための具体的な効果的な提案があるか。	技術提案 1 と同じ	3.0 ～ 0	/6.0
	[技術提案 2] 【②イニシャルコスト低減に繋げるコスト削減案】 ■評価項目 ・要求水準を満たした上で、基本設計を理解し、イニシャルコストを低減する提案を求める。 ■評価の視点 ・ランニングコストに配慮しつつ、イニシャルコストの低減に寄与する合理的な計画について、具体的に提案されているか。		3.0 ～ 0	

[技術提案 3] 【スケジュール管理手法】 ■評価項目 ・ 契約工期を遵守するための具体的な工程管理手法を求める。 ■評価の視点 ・ マイルストーンとクリティカルパスが明記された具体的な工程計画が提案されているか。 ・ 進捗管理方法や遅延が生じた際の対応策等について、具体的に提案されているか。 ・ 上記のほか、効率的、生産的に工事を管理し、工期短縮を見据えた具体的な提案があるか。 ■具体的に求めたい提案例 ・ 工期を遵守する具体的な提案 ・ 計画的な発注、施工手順の工夫など、建物の品質を下げずに工程を遵守し、さらに短縮する提案 ・ 設計、施工を含めた工事全体での工期を短縮する提案 ・ ICT 等を活用した工程管理手法 ・ 供用開始に向けた様々な工種の工事施工業者及び別途発注工事業者との連携・調整・協力体制及び業務管理手法 など		技術提案 1 と同じ	3.0 ～ 0	/3.0
[技術提案 4] 【地域貢献】 ■評価項目 ・ 市内本店業者の活用率だけでなく、その他の具体的な地域活性化への取組、手法の提案を求める。 ■評価の視点 ・ 地域の活性化に繋げる取組みについて、具体的な方法や頻度などが記され、効果的な提案があるか。 ■具体的に求めたい提案例 ・ 地元の建設業者への技術力向上や教育の具体的な提案 ・ 地域への情報発信、地域活動への参加			2.0 ～ 0	/2.0

イ

審査項目	評価項目及び記載事項	評価基準	配点	得点
企業能力	[工事成績評定点] (単体又は工事を担う全構成員が対象) ■評価項目 - 直近 5 か年度以内に完成引き渡しの済んだ岐阜市発注（上下水道事業部及び市民病院含む）の建築一式工事にかかる工事成績評定点の平均点 - 各構成員の工事成績評定点の平均点 ■留意事項 ○受注形態が特定建設工事共同企業体である場合の工事成績評定点は、代表構成員又は構成員として受注したものを対象とする。 ○実績のない年度は 65 点とする	平均点が 75 点以上	1.0	/1.0
		平均点が 73 点以上 75 点未満	0.5	
		平均点が 65 点以上 73 点未満	0	
		平均点が 65 点未満	-1.0	
	[同種工事又は類似工事の施工実績] (単体又は代表構成員が対象) ■評価項目 - 直近 10 か年度以内及び入札公告日の属する年度の一般競争入札参加資格確認申請書の提出期限日までに完成引渡しの済んだ同種工事又は類似工事の施工実績の有無 - 同種工事は、延べ面積 7,000 m²以上の化学・薬学系の実験施設を有する大学の校舎（医学部、薬学部、理学部等の理系大学）。類似工事は、延べ面積 14,000 m²以上の総合病院とする。 ■留意事項 ○岐阜市発注の工事については、工事成績 65 点未満のものは、実績として認めない。 ○特定建設工事共同企業体での実績については、出資比率 30%以上が対象 ○鉄骨造、鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の新築又は増築に限る。	同種工事又は類似工事の施工実績が 2 件以上	2.0	/2.0
		同種工事又は類似工事の施工実績が 1 件	1.0	
		実績なし	0	
	[同種工事又は類似工事の設計実績] (単体、代表構成員、設計業者のいずれかが対象。ただし、特定建設工事共同企業体の構成員に設計業者を含む場合は、設計業者が対象) ■評価項目 直近 10 か年度以内及び入札公告日の属する年度の一般競争入札参加資格確認申請書の	同種工事又は類似工事の設計実績が 2 件以上	2.0	/2.0

	提出期限日までに完了した同種工事又は類似工事の設計実績の有無 ・同種工事は、延べ面積 7,000 m²以上の化学・薬学系の実験施設を有する大学の校舎（医学部、薬学部、理学部等の理系大学）。類似工事は、延べ面積 14,000 m²以上の総合病院とする。 ■ 留意事項 ○鉄骨造、鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の新築又は増築に限る。 ○設計実績は、建築確認申請書において代表となる設計者として確認を受けた実績を対象とする。 ○特定建設工事共同企業体での実績については、出資比率 30%以上が対象	同種工事又は類似工事の設計実績が 1 件	1.0	
		実績なし	0	
	[優良建設工事業者表彰歴] (単体又は工事を担う全構成員が対象) ■ 評価項目 ・直近 5 か年度以内の優良建設工事業者表彰歴の有無（建築工事部門に限る） ・岐阜市のほか、国、都道府県、政令市、中核市での表彰歴も対象とする。	表彰歴 2 回以上	1.0	/1.0
		表彰歴 1 回	0.5	
		表彰歴なし	0	

ウ

審査項目	評価項目及び記載事項	評価基準	配点	得点
配置技術者の実績	[監理技術者] (単体又は代表構成員が対象) ■評価項目 ・直近 10 か年度以内及び入札公告日の属する年度の一般競争入札参加資格確認申請書の提出期限日までに完成引渡しの済んだ同種工事または類似工事の実績の有無 ・同種工事は、延べ面積 7,000 m²以上の化学・薬学系の実験施設を有する大学の校舎（医学部、薬学部、理学部等の理系大学）。類似工事は、延べ面積 14,000 m²以上の総合病院とする。 ■留意事項 ○岐阜市発注の工事については、工事成績 65 点未満のものは、実績として認めない ○鉄骨造、鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の新築又は増築に限る。 ○受注形態が特定建設工事共同企業体である場合は、代表構成員又は構成員として受注したものを対象とし、その出資比率を乗じた値とする。 ○特定建設工事共同企業体での実績については、出資比率 30%以上が対象 ○工期の途中で技術者を交代していた場合、その技術者の実績（延べ面積）は、担当した期間を工期で除した割合を乗じた面積とする。 ○「岐阜市低入札価格調査要綱第 11 条」における追加配置技術者の場合は対象としない。 ○統括責任者と兼務した場合は、配点に 0.5 を乗じる。	監理技術者、現場代理人、若しくは特定建設工事共同企業体の構成員である主任技術者として、同種工事又は類似工事の施工実績が 2 件以上	1.0	/1.0
		監理技術者、現場代理人、若しくは特定建設工事共同企業体の構成員である主任技術者として、同種工事又は類似工事の施工実績が 1 件	0.5	
		実績なし	0	
	[管理技術者] (単体、代表構成員、設計業者のいずれかが対象。ただし、特定建設工事共同企業体の構成員に設計業者を含む場合は、設計業者が対象) ■評価項目 ・直近 10 か年度以内及び入札公告日の属する年度の一般競争入札参加資格確認申請書の提出期限日までに完成引渡しの済んだ同種工事における設計又は類似工事における設	管理技術者（設計）又は建築総合主任技術者として同種工事又は類似工事の設計実績が 2 件以上	1.0	/1.0

	計実績の有無 ・同種工事は、延べ面積 7,000 m²以上の化学・薬学系の実験施設を有する大学の校舎（医学部、薬学部、理学部等の理系大学）。類似工事は、延べ面積 14,000 m²以上の総合病院とする。 ■留意事項 ○鉄骨造、鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の新築又は増築に限る。 ○受注形態が特定建設工事等共同企業体である場合は、代表構成員又は構成員として受注したものを対象とし、その出資比率を乗じた値とする。 ○特定建設工事等共同企業体での実績については、出資比率 30%以上が対象 ○設計実績は、設計業務の主たる部分（意匠）を担当した実績を評価する。 ○業務期間の途中で技術者を交代していた場合、その技術者の実績（延べ面積）は、担当した期間を委託期間で除した割合を乗じた面積とする。 ○統括責任者と兼務した場合は、配点に 0.5 を乗じる。	管理技術者（設計）又は建築総合主任技術者として同種工事又は類似工事の設計実績が 1 件	0.5	
		実績なし	0.0	
	〔統括責任者〕 （単体又は代表構成員が対象） ■評価項目 ・監理技術者又は管理技術者と同様 ■留意事項 ○監理技術者又は管理技術者と同様 ○監理技術者又は管理技術者と兼務した場合は、配点に 0.5 を乗じる。	監理技術者、現場代理人、特定建設工事共同企業体の構成員である主任技術者、管理技術者、建築総合主任技術者のいずれかとして同種工事又は類似工事の施工又は設計実績が 2 件以上	1.0	/1.0
		監理技術者、現場代理人、特定建設工事共同企業体の構成員である主任技術者、管理技術者、建築総合主任技術者のいずれかとして同種工事又は類似工事の施工又は設計実績が 1 件	0.5	
		実績なし	0.0	

エ

審査項目	評価項目及び記載事項	評価基準	配点	得点
地域要件	[特定建設工事共同企業体構成員の市内本店業者数] ■ 評価項目 市内本店業者数により加点する。ただし代表構成員を除く。 ■ 留意事項 ○特定建設工事共同企業体構成員の市内本店業者数加点一覧表参照	4者特定建設工事共同企業体の第2から第4構成員すべてが市内本店業者	2.0	/2.0
		工事を担う第2及び第3構成員が、市内本店業者の場合 →1.6加算 工事を担う第2又は第3構成員が、市内本店業者の場合 →0.8加算 設計を担う構成員が、市内本店業者の場合 →0.4加算	1.6 ～ 0.4	
		単体又は構成員に市内本店業者なし	0	
	[市内本店業者の活用率] ■ 評価項目 - 入札金額に占める1次下請の市内本店業者の活用状況及び建築資機材の市内本店業者からの調達（受注者からの直接発注に限る）を加算対象とする。 - 入札金額に対する市内1次下請金額と建築資機材の市内本店業者発注金額の合計の割合により算出する。 - 市内本店業者の活用率の算定（％） $\{(\text{市内本店業者への1次下請金額} + \text{市内本店業者への建築資機材発注金額}) / (\text{入札金額}) \} \times 100$ ■ 留意事項 ○市内本店業者とは、岐阜市内に本店を有する企業を示す。 ○実際の施工にあたって、下請の変更があった場合、記載した市内本店業者の活用率を下回らないこと。	市内本店業者の活用率が30%以上	2.5	/2.5
		$(\text{市内本店業者の活用率} - 5\%) \times 0.1$	計算式による	
		市内本店業者の活用率が5%	0	